

※授業は1回2時限です

学科名 コース名	ビジネス科			授業方法	演習		
科目名	情報処理Ⅳ (データベース)	学年	2	時間数	60	単位数	4
担当者	小林・高野	科目種別	情報	実務経験のある教員等 による授業	○	必修選択	選択
到達目標							
リレーショナルデータベースとは何かを理解し、データベースソフト「Access」の機能を使って、抽出、集計など効率よくデータ処理が行え、必要な帳票を出力したり、データ更新ができるようになることを目標とする。							
授業概要							
データベースソフトを使ったデータ管理の経験が豊富な講師が、データベースソフト「Access」の計算式や関数の使い方、抽出や集計、帳票出力やデータ更新などのさまざまな機能を解説し、例題で実際に演習します。							
回	テーマ	内容					
1	リレーショナルデータベース	リレーショナルデータベースとは何かを学び、使用するデータベースソフトの特徴や機能を学びます。					
2	データの作成と出力	データを作成するために必要な知識や機能およびデータを出力するために必要な知識や機能を例題を使って学びます。					
3	条件抽出	条件を指定して必要なデータだけを抽出するために必要な知識や機能を例題を使って学びます。					
4	問題練習①	データの作成、抽出、出力の一連のデータ処理を、問題を使って練習します。					
5	問題練習②	データの作成、抽出、出力の一連のデータ処理を、問題を使って練習します。					
6	計算式や関数を使った処理	計算式や関数を使ったデータ処理方法を例題を使って学びます。					
7	集計機能を使った処理	集計機能を使ったデータ処理方法を例題を使って学びます。					
8	問題練習①	計算式や関数、集計機能を使ったデータ処理を、問題を使って練習します。					
9	問題練習②	計算式や関数、集計機能を使ったデータ処理を、問題を使って練習します。					
10	問題練習③	複雑な計算式や条件抽出および関数、集計機能を使ったデータ処理を、問題を使って練習します。					
11	問題練習④	複雑な計算式や条件抽出および関数、集計機能を使ったデータ処理を、問題を使って練習します。					
12	クエリを使ったデータの追加	クエリを使ってファイルにデータを追加する方法を、例題を使って学びます。					
13	クエリを使ったデータの削除	クエリを使ってファイルからデータを削除する方法を、例題を使って学びます。					
14	クエリを使ったデータの更新①	クエリを使ってファイルのデータを更新する方法を、例題を使って学びます。					
15	クエリを使ったデータの更新②	クエリと計算式を使ってファイルのデータを更新する方法を、例題を使って学びます。					
16	グループ化した帳票出力	帳票出力時に指定項目でグループ化する方法を、例題を使って学びます。					

17	問題練習①	クエリを使ったデータの追加・削除・更新やグループ化した帳票出力を、問題を使って練習します。
18	問題練習②	クエリを使ったデータの追加・削除・更新やグループ化した帳票出力を、問題を使って練習します。
19	問題練習③	クエリを使ったデータの追加・削除・更新やグループ化した帳票出力を、問題を使って練習します。
20	問題練習④	クエリを使ったデータの追加・削除・更新やグループ化した帳票出力を、問題を使って練習します。
21	重複データ	重複データとは何か、また重複データの見つけ方と処理について、例題を使って学びます。
22	不一致データ	不一致データとは何か、また不一致データの見つけ方と処理について、例題を使って学びます。
23	クロス集計	クロス集計とは何か、クロス集計機能の使い方とどんな時に使うかについて、例題を使って学びます。
24	Nullデータの処理	Nullデータとは何か、どんな時に発生するのか、またどう対処したらよいかについて、例題を使って学びます。
25	一時テーブル	一時テーブルとは何か、どんな時に必要か、どうすれば作成できるか、を例題を使って学びます。
26	問題練習①	重複、不一致、クロス集計、Nullデータへの対処、一時テーブルの作成について、問題を使って練習します。
27	問題練習②	重複、不一致、クロス集計、Nullデータへの対処、一時テーブルの作成について、問題を使って練習します。
28	問題練習③	重複、不一致、クロス集計、Nullデータへの対処、一時テーブルの作成について、問題を使って練習します。
29	問題練習④	重複、不一致、クロス集計、Nullデータへの対処、一時テーブルの作成について、問題を使って練習します。
30	テスト	学んできたデータベースの機能を使って適切なデータ処理が行えるかを試験問題で確認します。
テキスト・教材・参考書		成績評価の方法・基準
「情報処理技能検定試験データベース模擬問題集」(日本情報処理検定協会)		授業態度、出席状況 試験(60点以上で単位認定)